



表紙：鉱物（石英、長石）の熱ルミネッセンスカラー写真
（提供：長友恒人）

化学と工業 6

CHEMISTRY & CHEMICAL INDUSTRY Vol.63-6 June 2010

C O N T E N T S



マドリッド王立植物園のシャクナゲ
（提供：浅野 努）



（上）岩野原遺跡近郊出土火焔型土器（所蔵：神林 修，提供：國學院大學考古学資料館），おこげが内面（中）と外面（下）に付着している例（提供：吉田邦夫・西田泰民）

- 461 **巻頭言** 将来世代からのメッセージ—サイエンスの方向性と哲学を問う
林 勝彦
- 465 **論説** 量から質へ発想の転換を—日本と、日本の科学技術—
岩瀬公一
- 467 **OVERVIEW** より強くより美しく
歯科材料の化学

472 **特集** 新しい古代の歴史—年代測定法の進歩—

^{14}C 年代測定法の進歩により、弥生時代の始まりがそれまで考えられていたよりも500年古い、という結果が得られたのは、2002年末頃からである。その後も年代測定法は進歩を続け、次々と古代の歴史に光が当てられつつある。本特集では、最新のAMS法（加速器質量分析法）並びに窒素やストロンチウムの安定同位体分析、熱ルミネッセンス法など、古代の歴史を探る分析手法の最前線を紹介する。

- 1 ^{14}C 年代測定法の最前線—究極の ^{14}C 年代測定に向けて
今村峯雄
- 2 極微量の炭素で探る縄文時代
—古代人からの便り—縄文土器に押された日付スタンプを読み取る
吉田邦夫
- 3 骨の ^{14}C 年代測定—骨の化学分析からどのようなことがわかるか
南 雅代
- 4 ルミネッセンスで年代を測る
長友恒人

- 484 **私の自慢** 自然界の変化を捉え有用物質生産に生かす
—酵素や微生物を生体触媒として利用する応用生物化学の魅力
桐村光太郎
- 487 **飛翔する若手研究者** 生体に学び、生体に迫り、生体で用いる分子集合体科学
岸村顕広
構造規制界面におけるプラズモニク光化学
池田勝佳
共役高分子とクリックケミストリーが会う時
道信剛志
パラジウム錯体触媒によるチェーンウォーキング重合
—側鎖官能基分布の完全に制御された新しい高分子合成法—
竹内大介

- 503 **Opening Article** Message from future generations
— Now is the time to establish a direction and a philosophy for science
Katsuhiko HAYASHI
- 504 **Commentary** From quantity to quality: Changing the strategy of Japan and its science and technology
Kimikazu IWASE

491	化学会発 男女共同参画の過去・現在・未来—第10回記念シンポジウム報告 男女共同参画推進委員会 IChO 速報 8: 化学オリンピック期間中のスケジュール 化学オリンピック日本委員会
493	企業だより 地球環境・エネルギー・社会の調和と共生のための未来価値の創造 コスモ石油株式会社
495	研究の現場から〔化学技術賞受賞研究〕 高酸素イオン伝導性材料を用いた高性能パティキュレート燃焼触媒の開発と実用化 山田啓司
497	支部だより 宇治へお越しやす! 近畿支部 事業紹介と就職活動における特殊性 中国四国支部
499	部会だより 新展開をめざすコロイドと界面の化学 コロイドおよび界面化学部会
500	BCSJ 賞 / CL
501	CCI サロン この人、紹介
502	編集後記
<hr/>	
506	会告 (次号予告)
507	お知らせ 行事一覧 講演会・講習会 研究発表会——発表募集 研究発表会——プログラム
<hr/>	
539	掲示板
540	求人・求職
次頁	広告索引・広告資料請求用紙 (ご活用下さい)

平成 22 年度化工誌編集委員会
委員長: 西郷和彦 理事: 佐々木万治
委員: 忍久保 洋 / 獨古 薫 / 松井 淳 / 松見紀佳 / 務台俊樹 / 山崎友紀 / 植村卓史 / 小佐野康子 / 吉川 暉
幹事委員: 岡村 寿 / 大越慎一 / 宮崎あかね / 小島英理 / 立間 徹 / 土岐育子
★化工誌記事についてのお問合せ E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp

デザイン (株)マツダオフィス

